

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

令和6年度

事業報告書及び決算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日



EXPO'90
FOUNDATION

目次

事業報告書

I. 事業

1. 顕彰事業	9
(1) コスモス国際賞	
(2) BIE コスモス賞	
(3) 全国花のまちづくりコンクール事業	
2. 助成・協働事業	10
(1) 花博自然環境助成事業	
3. 普及啓発事業及び国際交流事業	12
(1) 次世代育成事業	
(2) 都市緑化推進運動等への協力事業	
(3) 普及啓発事業	
(4) その他普及啓発事業	
(5) 国際交流事業	
4. 調査研究・資料収集事業	17
5. 附属明細書	18

II. 庶務・管理

1. 理事会・評議員会等	21
2. 内閣府届出及び情報公開	22
3. その他	22

決算書

III. 財務諸表

1. 貸借対照表	25
2. 正味財産増減計算書	27
3. 正味財産増減計算書内訳表	30
4. 財務諸表に対する注記	33
5. 附属明細書	36
6. 財産目録	37

IV. 監査報告書	41
-----------	----

令和6年度

I. 事業

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

はじめに

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会（以下「協会」という。）は、国際花と緑の博覧会（以下「花の万博」という。）の「自然と人間との共生」という理念を継承し発展させることを目的に、各種事業を行っている。

令和6年度は、令和4年度策定の中期計画の中間年として、事業の選択と集中及び様々な主体との連携、広報戦略を一層推進し、各事業を着実に実施した。具体には、第31回目の顕彰となるコスモス国際賞や助成事業等の実施の他、2025年日本国際博覧会、2027年国際園芸博覧会に向けた取り組みを行った。

1. 顕彰事業

（1）コスモス国際賞

「コスモス国際賞（以下「コスモス賞」という。）」の2024年（第31回）受賞者の選考及び授賞式等を次のとおり実施した。

また、2025年（第32回）の受賞候補者の推薦を国内外の推薦人に依頼するため、推薦依頼書を発送した。

ア. 受賞者の選考等

コスモス国際賞委員会（以下「賞委員会」という。）及びコスモス国際賞選考専門委員会（以下「選考委員会」という。）を設置し、次の選考作業を行った。

① 2024年（第31回）受賞者の選考等

- ・ 令和6年5月7日、5月13日に第1回、第2回選考委員会が開催され、2024年受賞者選考対象122件の推薦に基づき、慎重な選考作業が実施された。
- ・ 令和6年6月24日に第3回選考委員会及び第2回賞委員会が開催され、2024年受賞候補者にウィリアム・ジェームズ・サザーランド博士（英国・ケンブリッジ大学動物学学科研究部長）が選定された。
- ・ 選考の経緯及び結果は、令和6年7月17日開催の第122回理事会に推挙され、受賞者として決定した。また、同日午後、国内外の報道機関に対して記者発表を実施した。

② 2025年（第32回）受賞者の選考準備等

- ・ 令和7年2月14日に第1回賞委員会が開催され、2025年（第32回）受賞者の受賞者選考に対して選考方針及び今後の日程等について審議された。
- ・ 国内外約1,900名の推薦人に対し、受賞候補者の推薦依頼を実施した。

イ. 2024年（第31回）コスモス国際賞授賞式の開催

国内外からの賓客及び招待者の参列のもと、授賞式を開催すると共に、サザーランド博士を囲み、賞委員会・協会の関係者による祝賀会を開催した。

授賞式 日時：令和6年11月12日（火）午後3時～5時

場所：住友生命いずみホール（大阪市中央区）

出席者：約 350 名

祝賀会 日時：令和 6 年 11 月 12 日（火）午後 5 時 15 分～7 時

場所：ホテルニューオータニ大阪（大阪市中央区）

出席者：約 100 名

ウ. コスモス国際賞受賞記念講演会

サザーランド博士による講演会を次のとおり開催した。

日時：令和 6 年 11 月 16 日（土）午後 1 時～午後 3 時

場所：東京大学伊藤謝恩ホール（東京都文京区）

出席者：約 500 名（現地約 200 名、オンライン約 300 名）

次第：受賞者紹介 池谷和信 コスモス国際賞選考専門委員会委員長

受賞記念講演 「効果的な環境保全と実践のために」

ウィリアム・ジェームズ・サザーランド博士

対談 石濱史子 国立環境研究所主幹研究員

サザーランド博士

コーディネーター 宮下直 コスモス国際賞選考専門委員会委員

後援：農林水産省、国土交通省、文部科学省、環境省、ブリティッシュ・カウンシル、東京都教育庁、生物科学学会連合、日本生態学会、日本生物教育学会、環境科学会

（2）BIE コスモス賞

2025 日本国際博覧会における BIE コスモス賞の授与に向けて、受賞候補団体を公募し、応募 61 件から 10 件を選考し、博覧会会場での展示計画の準備を進めた。

（3）全国花のまちづくりコンクール事業

花の万博を契機に「花と緑の国づくり・まちづくり」をめざして農林水産省及び国土交通省が提唱する花のまちづくりコンクールの推進協議会に参画し、第 34 回（2024 年）全国花のまちづくりコンクールを実施した。

応募数：605 件

入賞：農林水産大臣賞、国土交通大臣賞各 2 点、文部科学大臣賞 1 点をはじめ 48 件

表彰式日時：令和 6 年 10 月 31 日（木）午前 11 時 30 分～午後 2 時

表彰式場所：法曹会館（東京都千代田区）

主催：花のまちづくりコンクール推進協議会（当協会、公益財団法人日本花の会、公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人日本花普及センター）

2. 助成・協働事業

（1）花博自然環境助成事業

調査研究や活動行催事を行っている市民団体等を支援する助成事業を、阪急電鉄株式会

社からの寄附金を充当し実施した。

ア. 令和6年度助成事業

令和6年度は、別表1の24団体に対し、総額事業費8,987,213円の助成を行った。

(別表1)

	助成団体名	事業名
調査研究	日台里山交流会議	日台里山イノベーションの研究(その2)
	久保川イーハトープ自然再生協議会	久保川イーハトープ世界生物相調査と目録作成、発表会
	南阿蘇ランドアートクラブ	「ランドスケープ農業」推進のための植生・土壌調査
活動・行催事	特定非営利活動法人自然環境ネットワーク射水市・ビオトープ協会	生物多様性保存型里山ビオトープの形成に関する事業
	福興浜団	菜の花迷路一般開放と菜の花畑整備
	特定非営利活動法人京おとくに・街おこしネットワーク	「京都西山」緑の魅力発信整備計画
	つくし野ビオトーププロジェクト	地域で親子が生物多様性を体験的に学ぶ環境学習活動
	源氏藤袴会	京都自生種の藤袴を保全育成し環境保全活動を推進する
	小高はなみちプロジェクトチーム	小高空き地ビオトープ計画
	非営利活動法人のとキリシマツツジの郷	日本の宝「のとキリシマツツジ」魅力発信事業
	豊野ひまわり園事業実行委員会	ひまわりを活用した環境美化と花と緑の地域づくり
	特定非営利活動法人グラウンドワーク三島	世界・日本の宝「水の山・富士山」の湧水を調べよう!
	公益社団法人園芸文化協会	国際園芸博共創セミナー「園芸文化を育んだ花」
	公益財団法人金沢子ども科学財団	里山の四季の自然を学ぼう
	やしろの森公園協会	収穫祭
	倉淵ヤマアジサイの会	休耕地を花と緑で埋め憩いの場所にする活動
	公益社団法人日本植物園協会	日本の植物園へリテージを市民とつなぐ
	坂井市国際交流協会	ワールド・ガーデン
	特定非営利活動法人里山再生と食の安全を考える会	里山から花とみどりあふれる地域づくり
	庭じかん	花バスケットで住民が集う明るい景観の町中空間を作る
	生駒山昆虫観察の会	親子ペアで行う生物豊かな森づくり
	Mikke Garden 森のムツレ貝塚教室	「森のムツレ教育」から学ぶサステナブル
	特定非営利活動法人LEAF26	「椿の路」とOECM共生活動を結ぶ地域支援事業
竜ヶ井城山の会	竜ヶ井城跡地域でのヤマザクラ保全と山林整備活動	

イ. 令和7年度助成事業

令和7年度実施分について公募及び審査を行い、次のとおり助成対象団体を決定した。

① 公募及び審査

公募期間：令和6年7月16日(火)～8月26日(月)

応募数：58件（調査研究8件、活動・行催事50件）

審査期間：令和6年10月～令和7年2月

助成決定団体：24件（調査研究4件、活動・行催事20件）

② 助成対象団体の決定

助成事業審査委員会の結果は令和7年1月30日付けで理事長に答申され、令和7年度の助成対象24件（調査研究4件、活動・行催事20件）を決定した。その後、第123回理事会（令和7年3月）に報告を行った。

ウ. 高校生 Green Action 助成

将来の助成団体を育むため、地域において花や緑の普及、環境保全等に取り組んでいる高校生を支援する「高校生 Green Action 助成」事業を試行的に実施した。結果予算額を上回る応募があったため、令和7年度から本格実施すべく、準備を進めた。

3. 普及啓発事業及び国際交流事業

事業等により得られた成果を広く紹介し、行動変容を促すことを目的に次の事業を行った。

(1) 次世代育成事業

ア. 小学校講師派遣

協会に関係する学者、知識人等を講師に招き、小学校に派遣する本事業は、対面授業及びオンライン授業にて、別表2の計15校に対し、実施した。

(別表2)

実施日 (※はオンライン)	学校名、学年、児童数等	テーマ	講師	
令和6年	6月13日	大阪市立巽小学校 6年生 71名	砂漠の水がめスイカ	池谷 和信 (国立民族学博物館名誉教授)
	6月18日	堺市立庭代台小学校 3年生 47名	植物のかたちと はたらき	渋谷 俊夫 (大阪公立大学教授)
	6月25日	葛城市立當麻小学校 3年生 32名	昆虫の生態・ 水生生物と川的环境	谷 幸三 (一般社団法人淡水生物研究所理事)
	6月27日	大阪市立東三国小学校 6年生 46名	植物のかたちと はたらき	渋谷 俊夫
	6月28日	大阪市立喜連西小学校 5年生 76名	カタツムリの 不思議な世界	河野 甲 (かたつむりミュージアム ラセン館代表)
	7月4日	大阪市立墨江小学校 3年生 85名	カタツムリの 不思議な世界	河野 甲
	7月8日	河内長野市立千代田小学校 4年生 122名	昆虫の生態・ 水生生物と川的环境	谷 幸三
	7月16日	大阪市立荻田北小学校 6年生 77名	カタツムリの 不思議な世界	河野 甲
	8月29日	大阪市立矢田小学校 3-6年生 65名	昆虫の生態・ 水生生物と川的环境	谷 幸三
	9月5日※	大阪市立大宮小学校 3年生 83名	生き物と食べ物に ついて	佐藤 洋一郎 (ふじのくに地球環境史ミュージアム館長)

9月13日	東大阪市立弥刀東小学校 3年生 42名	動物の命の不思議	長瀬 健二郎 (天王寺動物園元園長)
9月26日	大阪市立鶴見小学校 5年生 45名	動物の命の不思議	長瀬 健二郎
12月2日	大阪市立高松小学校 4年生 81名	植物のかたちと はたらき	渋谷 俊夫
12月6日	大阪市立新森小路小学校 5年生 99名	砂漠の水がめスイカ	池谷 和信
12月10日	岸和田市立中央小学校 6年生 28名	動物の命の不思議	長瀬 健二郎

イ. コスモス国際賞受賞者紹介読本

受賞者の研究、業績をわかりやすく紹介する受賞者紹介読本（漫画）については、1993年受賞者「ギリアン・プランス卿」物語、2003年受賞者「ピーター・レーブン博士」物語を発刊し、配付した。

また、岩槻邦男博士（2016年コスモス国際賞受賞者）、ピーター・ベルウッド博士（2021年コスモス国際賞受賞者）から制作許諾を得、資料の収集を行い、マンガシナリオ、ネームの作成を進めた。

ウ. ネイチャー甲子園

高校生が動画撮影や生きもの調査により、地域の身近な自然、それに関わる人々の生業等を紹介するコンテスト型の事業、全国高校生「地域の自然」甲子園（通称：ネイチャー甲子園）は、次のとおり実施した。

主催：当協会、株式会社地域環境計画

協賛：キヤノン株式会社

後援：文部科学省、環境省

公募期間：令和6年4月16日（火）～11月29日（金）

応募数：動画クリエイト部門53件、生き物調査部門50件

決勝大会：日時：令和7年2月9日（日）午後1時30分～4時

場所：花博記念ホール（大阪市鶴見区）

出席者：110名（会場参加70名、オンライン40名）

エ. 花博チャンネル

感染症により縮小・中止した事業に替わる協会の新しい次世代育成事業である「花博チャンネル」は、次の2件の講義及び自然と人間との共生フォーラム等を動画サイトに掲載した。

「砂漠の水がめスイカ」

池谷和信（国立民族学博物館名誉教授）

「里山ってどんなもの？」

稲本雄太（けいはんな記念公園管理事務所景観演出部）

(2) 都市緑化推進運動等への協力事業

「春の都市緑化推進運動期間(4~6月)」および「都市緑化月間(10月)」における「都市緑化キャンペーン活動」等を支援するため、都市緑化推進運動協力会に協力した。

(3) 普及啓発事業

花の万博が開催された地元大阪において、理念の継承発展・普及啓発に関する事業を地元公共団体及び関連団体と協働し実施した。

ア. おおさか都市緑化フェア 2024

花と緑あふれる豊かなまちづくりを進め、都市緑化に関する府民意識の高揚と知識の普及を図ることを目的に開催されている本フェアに参画した。

開催日：令和6年10月27日(日)

場所：大阪府営久宝寺緑地(大阪府八尾市)

主催：当協会、大阪府、株式会社美交工業

来場者：約18,000名

イ. みどりのまちづくり賞(大阪ランドスケープ賞)

緑の街づくりを推進することを目的とした第13回みどりのまちづくり賞に参画した。

公募期間：令和6年5月17日(金)~7月19日(金)

主催：当協会、大阪府、一般社団法人ランドスケープコンサルツ協会関西支部

応募数・入賞数：13点・5点

表彰式日時：令和7年1月27日(月)午後2時~4時30分

場所：エル・おおさか南ホール(大阪府中央区)

来場者：約100名

ウ. はならんまん

大阪市民の花や緑のまちづくりへの関心を高め、花と緑を育てる伝統や文化への理解を促すとともに、花緑関連業界の交流と活性化を目的に開催された本事業に参画した。

開催日：令和6年11月3日(日・祝)※悪天候により1日短縮

場所：花博記念公園鶴見緑地(大阪府鶴見区)

主催：当協会、大阪市

来場者：約25,000名

(4) 周年記念事業

ア. 2025年日本国際博覧会への協力

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)協力事業として、特定費用準備資金による会場整備参加(木製ベンチ259基)を行った。

イ. 第1回「人・自然・生命」シンポジウム

2027年国際園芸博覧会の機運喚起と共生理念の浸透のため、4回シリーズのシンポジウムを企画し、その第1回目を次のとおり開催した。

テーマ：人にとって緑とは何か、なぜ花を愛でるのか

趣旨：パンデミックによる行動抑制により、人は緑を求め公園に出、ホームセンターでは花苗が売れた。人はなぜ緑を求めるのか、行動の原理と心身への効果は何か、花に何を思うのか。根源的な課題にアプローチする。

日時：令和7年3月10日（月）午後1時～午後3時30分

場所：横浜市開港記念会館 講堂（横浜市中区）

主催：「人・自然・生命」シンポジウム実行委員会

後援：農林水産省、国土交通省、環境省、神奈川県、横浜市

参加者：約200名

次第：趣旨説明 涌井史郎 GREEN×EXPO ラボ チェアパーソン

基調講演 岩槻邦男 東京大学名誉教授

パネルディスカッション

コーディネーター 涌井史郎 GREEN×EXPO ラボ チェアパーソン

パネリスト 井上英明 株式会社パーク・コーポレーション代表取締役

田中優子 法政大学前総長

望月寛子 国立研究開発法人農業・食品産業義実総合研究機構

健康・感覚機能グループ長補佐

吉岡更紗 染織家

ウ. 万博の桜2025事業

2025年大阪・関西万博への期待感や機運を高め、関西の緑化環境の向上を目指す、募金による「2025本の桜」植樹事業の実行委員会事務局として、寄附金受入れ及び広報事務を行い、令和6年10月に目標額191,840,000円に達した。その後、自治体と植樹計画等を進め、収束事務に移行した。

なお、事務局経費の一部として阪急電鉄株式会社からの寄附を充当した。

(5) その他普及啓発事業

ア. 自然と人間との共生フォーラム ～見えないけれど、そこにいる、菌～

当協会、公益社団法人日本動物園水族館協会、公益社団法人日本植物園協会の協働により、市民への普及啓発を行う連携・協働事業をオンラインにて開催した。

開催日時：令和7年2月20日（木）午後2時～4時15分

参加者：約350名

出演者：基調講演

「菌類・見えないけれど、そこにいる大切な生き物」

細矢 剛（筑波実験植物園長、日本菌学会会長）
 プレゼンテーション・パネルディスカッション
 「変形菌“菌”と呼ばれるアメーバー」
 松本 淳（越前町立福井総合植物園長）
 「希少植物を支えるキノコのちから」
 末次健司（神戸大学大学院理学研究科教授）
 「農業するアリ・ハキリアリ ～菌類と共に生きる～」
 佐藤愛子（多摩動物公園昆虫園飼育展示係）

イ. 広報・報道活動等

- ① 各事業の理解促進・普及を図るためホームページや SNS に事前告知や事業報告等を随時掲載した他、「自然と人間との共生」に関わる話題を提供する協会情報誌『KOSMOS』14号、15号は、「住」と「二十四節気と自然観」をテーマとした対談、コラムを掲載し、発刊・配付した。
- ② コスモス国際賞の最新情報を掲載したパンフレットを作成し、授賞式等で配付した。また、2024年（第31回）受賞者の業績、コスモス国際賞の趣意、構成、授賞式等を取りまとめた報告書を作成し、国内外の関係者に配付した。
- ③ 今後開催が計画されている博覧会や各種イベント等の主催者、花の万博紹介媒体に対し、情報、写真の提供を行った。
 国・地方自治体等－9件、企業・個人－14件
- ④ 各種行催事等に別表3のとおり協賛・後援・会長賞の交付を行った。
- ⑤ 協会並びに事業の浸透を図るためノベルティを作製した。

(別表3)

催事名（開催時期）	開催場所	主催	名義
令和6年度大阪府立花の文化園「幼児・小中学生花の絵画展」(R7.1.5～2.2)	大阪府立花の文化園イベントホール（大阪府河内長野市）	大阪府、大阪府立花の文化園	後援 会長賞
第21回2024周防町通り「はなまつり」(R6.5.1～5.31)	周防町通り（堺筋～御堂筋間）と大阪市立南小学校（大阪市中央区）	ヨーロッパ村周防町通り商店会	後援
緑の講演会「次代に繋ぐ吉野山の桜景観」(R6.6.29)	京都経済センター6F（京都市下京区） WEB開催	一般財団法人日本造園修景協会京都府支部	後援
水都 ^{もり} おおさか森林の市2024 (R6.10.27)	桜ノ宮合同庁舎・毛馬桜之宮公園周辺（大阪市北区）	水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会	後援
第79回日本おもと名品展 (R6.11.23～11.24)	上野グリーンクラブ（東京都台東区）	日本おもと協会	後援 会長賞

令和6年度「都市緑化月間」 (R6.10.1～10.31)	全国	国土交通省、都道府県、 市町村	協賛
令和6年度第44回伝統庭技研修会 (R6.11.28～11.29)	梅小路公園緑の館 (京都市下京区)	一般財団法人日本造園 修景協会	後援
小品盆栽フェア第33回春雅展 (R7.3.28～3.30)	花博記念公園鶴見緑地内 ハ ナミズキホール (大阪市鶴見区)	公益社団法人全日本小 品盆栽協会	後援 会長賞
私のランドスケープ (R7.2.15)	キャンパスプラザ京都 第6講 習室 (京都市下京区) WEB開催	一般財団法人日本造園 修景協会京都府支部	後援

(6) 国際交流事業

ア. コスモス賞等協力協議

コスモス国際賞、BIE コスモス賞に係る協議を、WAZA (世界動物園・水族館協会)、ISC (国際科学会議)、BIE (博覧会国際事務局) と行った。

イ. ウクライナフラワープレゼント

ウクライナ学生支援会事務局の協力により、日本へ避難・留学されてきた学生を対象に「花とみどりのギフト券」(4,000円分)を、ウクライナ独立記念日とクリスマスに合わせ贈った。(ウクライナ独立記念日:14校48名を対象、クリスマス:11校41名を対象)

ウ. 成都世界園芸博覧会

中国四川省で開催の2024年成都世界園芸博覧会(A2クラス)を視察した。

4. 調査研究・資料収集事業

(1) 生物多様性調査

ア. 第5回温帯地域の花木・鑑賞樹木に関する国際シンポジウム

日本の花木にまつわる研究の国際的発信の場である本シンポジウム(4月:松江)を共催した。

開催期間:令和6年4月21日(日)～4月25日(木)

場所:松江テルサ(島根県松江市)

主催:WOTZ2024 実行委員会

共催:当協会、園芸学会、島根大学、農業・食品産業技術総合研究機構

参加国、人数:13カ国、172名

発表演題数:口頭発表(基調講演等を含む)41題、ポスター発表30題

イ. 共生ツアー

地域における人と自然の関わりを探るエクスカージョン型の事業、「共生ツアー」を吉野

の林業（一次産業の生業）を対象に実施した。

開催日：令和6年9月7日（土）

場所：奈良県吉野町

参加者：19名（一般）

内容：山守ツアー、皮剥ぎ体験、ロープワーク体験、製材所視察、吉野杉の家視察

ウ. SDGs パンフレット

企業メセナやSDGsに関心をもつ企業に対し、協会との連携協働を促すための、事業紹介パンフレットを送付した。

5. 附属明細書

事業における重要な事項は令和6年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無いため、当年度の附属明細書は作成しない。

令和6年度

II. 庶務・管理

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

1. 理事会、評議員会等

(1) 第 121 回理事会 令和 6 年 6 月 12 日 (水)

開催場所：ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区）

決議事項：令和 5 年度事業報告及び収支決算について

定時評議員会の招集について

評議員会に提出する評議員候補者（案）について

(2) 第 122 回理事会 令和 6 年 7 月 17 日 (水)

開催場所：ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区）

決議事項：特定資産の取崩しについて

臨時評議員会の招集について

2024 年（第 31 回）コスモス国際賞受賞者の決定について

(3) 第 123 回理事会 令和 7 年 3 月 18 日 (火)

開催場所：ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区）

決議事項：特定資産の取崩しについて

令和 7 年度資産運用方針書について

令和 7 年度事業計画及び収支予算について

特定資産の保有について

特定費用準備資金の保有について

コスモス国際賞委員会委員長及び委員の選任について

役員賠償責任保険の加入及び法人の保険料負担について

臨時評議員会の招集について

(4) 第 66 回評議員会 令和 6 年 6 月 27 日 (木)

開催場所：大阪新阪急ホテル（大阪市北区）

決議事項：令和 5 年度事業報告及び収支決算書類の承認について

評議員の選任について

(5) 第 67 回評議員会 令和 6 年 8 月 15 日 (木)

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：特定資産の取り崩しについて

(6) 第 68 回評議員会 令和 7 年 3 月 31 日 (月)

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：特定資産の取り崩しについて

2. 内閣府届出及び情報公開

令和6年6月に開催した理事会、評議員会における令和5年度事業報告及び収支決算、評議員会における評議員の辞任就任、令和7年3月に開催した理事会における令和7年度事業計画及び収支予算について、それぞれ内閣府に届出を行った。

また、定款、名簿、財務諸表等を協会事務所に据え置いたほか、協会ホームページにも掲載し、情報公開に努めた。

3. その他

第三者委員会として資産運用管理委員会を引き続き開催し、資産運用の業務状況を調査・確認し、代表理事に対して報告を行った。

また、令和4年度に策定した新たな中期計画のうち、広報戦略についてはアドバイザー一会議を開催して検討を進め、改善を図った。

令和6年度

Ⅲ. 財務諸表

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

1. 貸借対照表

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	96,758,875	104,928,361	△8,169,486
未収収益	78,968,935	78,924,351	44,584
流動資産合計	175,727,810	183,852,712	△8,124,902
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	860,000,000	860,000,000	0
基本財産投資有価証券	29,400,000	29,400,000	0
基本財産普通預金	600,000	600,000	0
基本財産合計	890,000,000	890,000,000	0
(2) 特定資産			
記念基金	9,475,144,200	9,791,696,496	△316,552,296
退職給付引当資産	22,974,500	18,879,700	4,094,800
国際園芸博覧会出展事業積立資産	30,000,000	20,000,000	10,000,000
法人運営安定化資産	20,000,000	10,000,000	10,000,000
大阪・関西万博協力事業積立資産	0	20,000,000	△20,000,000
特定資産合計	9,548,118,700	9,860,576,196	△312,457,496
(3) その他固定資産			
什器備品	8	8	0
その他固定資産合計	8	8	0
固定資産合計	10,438,118,708	10,750,576,204	△312,457,496
資産合計	10,613,846,518	10,934,428,916	△320,582,398
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,063,732	14,527,465	1,536,267
預り金	710,377	1,483,303	△772,926
賞与引当金	2,989,463	2,757,323	232,140
流動負債合計	19,763,572	18,768,091	995,481
2. 固定負債			
退職給付引当金	22,974,500	18,879,700	4,094,800
固定負債合計	22,974,500	18,879,700	4,094,800
負債合計	42,738,072	37,647,791	5,090,281
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	10,000,000,000	10,000,000,000	0
基本財産運用益	90,000,000	90,000,000	0
特定資産運用益	800,000,000	800,000,000	0

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
特定資産評価差額金等	△524,855,800	△208,303,504	△316,552,296
指定正味財産合計	10,365,144,200	10,681,696,496	△316,552,296
（うち基本財産への充当額）	(890,000,000)	(890,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(9,475,144,200)	(9,791,696,496)	(△316,552,296)
2. 一般正味財産	205,964,246	215,084,629	△9,120,383
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
正味財産合計	10,571,108,446	10,896,781,125	△325,672,679
負債及び正味財産合計	10,613,846,518	10,934,428,916	△320,582,398

2. 正味財産増減計算書

令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,240,949	4,245,497	△4,548
基本財産受取利息	4,240,949	4,245,497	△4,548
特定資産運用益	250,528,961	240,912,205	9,616,756
記念基金受取利息	250,528,961	240,912,205	9,616,756
受取寄付金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	3,000,000	3,000,000	0
経常収益計	257,769,910	248,157,702	9,612,208
(2) 経常費用			
事業費	212,468,542	203,044,693	9,423,849
役員報酬	8,524,726	8,564,584	△39,858
給与手当	36,378,931	34,743,096	1,635,835
法定福利費	6,173,076	6,033,554	139,522
退職給付費用	2,132,981	1,726,362	406,619
賃金	2,238,307	3,233,864	△995,557
職員厚生費	131,242	168,749	△37,507
会議費	4,021,689	2,396,309	1,625,380
旅費交通費	5,843,052	9,293,626	△3,450,574
通信運搬費	1,622,125	3,437,853	△1,815,728
広告費	1,135,998	40,302	1,095,696
消耗什器備品費	43,349	152,393	△109,044
消耗品費	2,418,584	2,963,331	△544,747
修繕費	138,600	0	138,600
印刷製本費	1,040,680	1,670,864	△630,184
光熱水料費	3,504,604	3,672,715	△168,111
役務費	83,075	21,368	61,707
委託費	42,757,495	46,494,711	△3,737,216
賃借料	3,382,857	3,537,184	△154,327
使用料	2,842,840	2,918,925	△76,085
保険料	213,472	213,472	0
諸謝金	8,512,587	8,607,956	△95,369
租税公課	44,096	360,292	△316,196
支払負担金・会費	28,929,148	12,237,832	16,691,316
支払助成金	9,320,681	9,430,439	△109,758
支払手数料	330,720	568,558	△237,838
顕彰賞金	40,110,000	40,110,000	0
雑費	593,627	446,354	147,273

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	54,421,751	52,652,823	1,768,928
役員報酬	3,653,454	3,670,536	△17,082
給与手当	32,940,969	31,406,182	1,534,787
法定福利費	6,223,910	6,136,625	87,285
退職給付費用	1,961,819	1,589,738	372,081
職員厚生費	120,711	155,395	△34,684
会議費	246,475	238,322	8,153
旅費交通費	1,624,780	1,571,750	53,030
通信運搬費	317,699	293,487	24,212
消耗什器備品費	18,578	27,126	△8,548
消耗品費	450,591	464,059	△13,468
修繕費	59,400	0	59,400
光熱水料費	1,501,973	1,574,021	△72,048
役務費	34,815	9,157	25,658
委託費	2,519,641	2,480,356	39,285
賃借料	1,405,706	1,467,436	△61,730
使用料	533,525	554,285	△20,760
保険料	91,488	91,488	0
諸謝金	107,700	125,700	△18,000
租税公課	14,184	131,568	△117,384
支払負担金・会費	457,070	458,505	△1,435
支払手数料	126,313	202,696	△76,383
雑費	10,950	4,391	6,559
経常費用計	266,890,293	255,697,516	11,192,777
当期経常増減額	△9,120,383	△7,539,814	△1,580,569
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△9,120,383	△7,539,814	△1,580,569
一般正味財産期首残高	215,084,629	222,624,443	△7,539,814
一般正味財産期末残高	205,964,246	215,084,629	△9,120,383
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産運用益	4,240,949	4,245,497	△4,548
基本財産受取利息	4,240,949	4,245,497	△4,548
特定資産運用益	250,528,961	240,912,205	9,616,756
記念基金受取利息	250,528,961	240,912,205	9,616,756

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
特定資産評価損益等	△316,552,296	315,861,456	△632,413,752
記念基金投資有価証券評価損益等	△316,552,296	315,861,456	△632,413,752
一般正味財産への振替	△257,769,910	△248,157,702	△9,612,208
一般正味財産への振替	△257,769,910	△248,157,702	△9,612,208
当期指定正味財産増減額	△316,552,296	315,861,456	△632,413,752
指定正味財産期首残高	10,681,696,496	10,365,835,040	315,861,456
指定正味財産期末残高	10,365,144,200	10,681,696,496	△316,552,296
Ⅲ 正味財産期末残高	10,571,108,446	10,896,781,125	△325,672,679

3. 正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,272,284	2,968,665	4,240,949
基本財産受取利息	1,272,284	2,968,665	4,240,949
特定資産運用益	175,370,273	75,158,688	250,528,961
記念基金受取利息	175,370,273	75,158,688	250,528,961
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
経常収益計	179,642,557	78,127,353	257,769,910
(2) 経常費用			
事業費	212,468,542	0	212,468,542
役員報酬	8,524,726	0	8,524,726
給与手当	36,378,931	0	36,378,931
法定福利費	6,173,076	0	6,173,076
退職給付費用	2,132,981	0	2,132,981
賃金	2,238,307	0	2,238,307
職員厚生費	131,242	0	131,242
会議費	4,021,689	0	4,021,689
旅費交通費	5,843,052	0	5,843,052
通信運搬費	1,622,125	0	1,622,125
広告費	1,135,998	0	1,135,998
消耗什器備品費	43,349	0	43,349
消耗品費	2,418,584	0	2,418,584
修繕費	138,600	0	138,600
印刷製本費	1,040,680	0	1,040,680
光熱水料費	3,504,604	0	3,504,604
役務費	83,075	0	83,075
委託費	42,757,495	0	42,757,495
賃借料	3,382,857	0	3,382,857
使用料	2,842,840	0	2,842,840
保険料	213,472	0	213,472
諸謝金	8,512,587	0	8,512,587
租税公課	44,096	0	44,096
支払負担金・会費	28,929,148	0	28,929,148
支払助成金	9,320,681	0	9,320,681
支払手数料	330,720	0	330,720
顕彰賞金	40,110,000	0	40,110,000
雑費	593,627	0	593,627

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
管理費	0	54,421,751	54,421,751
役員報酬	0	3,653,454	3,653,454
給与手当	0	32,940,969	32,940,969
法定福利費	0	6,223,910	6,223,910
退職給付費用	0	1,961,819	1,961,819
職員厚生費	0	120,711	120,711
会議費	0	246,475	246,475
旅費交通費	0	1,624,780	1,624,780
通信運搬費	0	317,699	317,699
消耗什器備品費	0	18,578	18,578
消耗品費	0	450,591	450,591
修繕費	0	59,400	59,400
光熱水料費	0	1,501,973	1,501,973
役務費	0	34,815	34,815
委託費	0	2,519,641	2,519,641
賃借料	0	1,405,706	1,405,706
使用料	0	533,525	533,525
保険料	0	91,488	91,488
諸謝金	0	107,700	107,700
租税公課	0	14,184	14,184
支払負担金・会費	0	457,070	457,070
支払手数料	0	126,313	126,313
雑費	0	10,950	10,950
経常費用計	212,468,542	54,421,751	266,890,293
当期経常増減額	△32,825,985	23,705,602	△9,120,383
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△32,825,985	23,705,602	△9,120,383
当期一般正味財産増減額	△32,825,985	23,705,602	△9,120,383
一般正味財産期首残高	18,433,207	196,651,422	215,084,629
一般正味財産期末残高	△14,392,778	220,357,024	205,964,246
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
基本財産運用益	1,272,284	2,968,665	4,240,949
基本財産受取利息	1,272,284	2,968,665	4,240,949
特定資産運用益	175,370,273	75,158,688	250,528,961
記念基金受取利息	175,370,273	75,158,688	250,528,961

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
特定資産評価損益等	△221,586,607	△94,965,689	△316,552,296
記念基金投資有価証券評価損益等	△221,586,607	△94,965,689	△316,552,296
一般正味財産への振替	△179,642,557	△78,127,353	△257,769,910
一般正味財産への振替	△179,642,557	△78,127,353	△257,769,910
当期指定正味財産増減額	△221,586,607	△94,965,689	△316,552,296
指定正味財産期首残高	7,453,187,555	3,228,508,941	10,681,696,496
指定正味財産期末残高	7,231,600,948	3,133,543,252	10,365,144,200
Ⅲ 正味財産期末残高	7,217,208,170	3,353,900,276	10,571,108,446

4. 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)によっている。

②満期保有目的の債券以外の有価証券

期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

その他の固定資産

什器備品…定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、職員の退職手当支給規程に基づき、
期末要支給額を計上している。

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	860,000,000	0	0	860,000,000
投資有価証券	29,400,000	0	0	29,400,000
普通預金	600,000	0	0	600,000
小 計	890,000,000	0	0	890,000,000
科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
記念基金	9,791,696,496	4,607,483,504	4,924,035,800	9,475,144,200
退職給付引当資産	18,879,700	4,094,800	0	22,974,500
国際園芸博覧会出展 事業積立資産	20,000,000	10,000,000	0	30,000,000
法人運営安定化資産	10,000,000	10,000,000	0	20,000,000
大阪・関西万博協力 事業積立資産	20,000,000	0	20,000,000	0
小 計	9,860,576,196	4,631,578,304	4,944,035,800	9,548,118,700
合 計	10,750,576,196	4,631,578,304	4,944,035,800	10,438,118,700

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	860,000,000	(860,000,000)	(0)	-
投資有価証券	29,400,000	(29,400,000)	(0)	-
普通預金	600,000	(600,000)	(0)	-
小 計	890,000,000	(890,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
記念基金	9,475,144,200	(9,475,144,200)	(0)	(0)
退職給付引当資産	22,974,500	-	-	(22,974,500)
国際園芸博覧会出展 事業積立資産	30,000,000	-	(30,000,000)	(0)
法人運営安定化資産	20,000,000	-	(20,000,000)	(0)
小 計	9,548,118,700	(9,475,144,200)	(50,000,000)	(22,974,500)
合 計	10,438,118,700	(10,365,144,200)	(50,000,000)	(22,974,500)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	品 名	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	花博会場模型	10,036,290	10,036,289	1
	コスモス国際賞顕彰品レプリカ	2,200,000	2,199,999	1
	ラフレッシュ(花)標本	4,506,293	4,506,292	1
	DVDレコーダー	165,000	164,999	1
	液晶テレビ	593,620	593,619	1
	ノートパソコン	193,200	193,199	1
	デジタルビデオカメラ	106,500	106,499	1
	プロジェクター	147,000	146,999	1
合 計		17,947,903	17,947,895	8

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
第160回利付国債	29,400,000	26,803,530	△ 2,596,470
小 計	29,400,000	26,803,530	△ 2,596,470

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	4,240,949
記念基金受取利息	250,528,961
受取寄付金	3,000,000
合 計	257,769,910

7 その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債、仕組預金)のみであり、運用限度枠を設けている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

記念基金に含まれる投資有価証券は、債券、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)が含まれており、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。なお、当該投資有価証券には、リスクが高いものとして、中途解約が著しく制約されていることにより、満期到来までに資金化することが困難な流動性に乏しい債券(仕組債)5,004百万円が含まれている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用管理規程及び資産運用基準に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

5. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3. に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,757,323	2,989,463	2,757,323	0	2,989,463
退職給付引当金	18,879,700	4,094,800	0	0	22,974,500

6. 財産目録

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
現金預金	現金	手元保管	運転資金として	67,199	
	普通預金	りそな銀行大阪公務部	運転資金として	40,526,773	
		三井住友銀行大阪公務部	運転資金として	37,551,683	
		三菱UFJ信託銀行大阪法人営業部	運転資金として	5,415	
		三井住友信託銀行大阪本店営業部	運転資金として	18,607,805	
				現金預金合計	96,758,875
	未収収益			公益目的事業及び管理目的の財源として使用する債券等の未収利息	78,968,935
流動資産合計				175,727,810	
(固定資産)					
基本財産	普通預金	りそな銀行大阪公務部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	600,000	
			うち公益目的保有財産である	180,000	
			うち管理目的の財源として使用する財産である	420,000	
	定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	860,000,000	
			うち公益目的保有財産である	258,000,000	
	投資有価証券	第160回利付国債	うち管理目的の財源として使用する財産である	602,000,000	
			満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	29,400,000	
			うち公益目的保有財産である	8,820,000	
			うち管理目的の財源として使用する財産である	20,580,000	
特定資産					
記念基金				9,475,144,200	
投資有価証券	関西国際空港20年債他	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	9,456,450,200		
		うち公益目的保有財産である。	6,619,515,140		
		うち管理目的の財源として使用する財産である。	2,836,935,060		
普通預金	りそな銀行大阪公務部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	18,694,000		
		うち公益目的保有財産である。	13,085,800		
		うち管理目的の財源として使用する財産である。	5,608,200		
退職給付引当資産				22,974,500	
普通預金	りそな銀行大阪公務部	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	22,974,500		
国際園芸博覧会出展事業積立資産				30,000,000	
普通預金	三井住友銀行大阪公務部	公益目的保有財産であり、2027年の横浜国際園芸博覧会出展事業の財源として管理している。	30,000,000		

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定 資産	法人運営安定化資産			20,000,000
	普通預金	りそな銀行大阪公務部	公益目的保有財産であり、法人運営安定化の財源として管理している。	20,000,000
			特定資産合計	9,548,118,700
	什器備品	花博会場模型等	公益目的事業及び管理目的の財産として使用している。	8
固定資産合計				10,438,118,708
資産合計				10,613,846,518
(流動負債)				
	未払金	令和6年度助成事業対象者に対する未払額等	公益目的事業及び管理目的の業務等未払い分	16,063,732
	預り金	役職員等に対するもの	源泉徴収税等	710,377
	賞与引当金	職員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	2,989,463
流動負債合計				19,763,572
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員7名に対する退職金の支払いに備えたもの	22,974,500
固定負債合計				22,974,500
負債合計				42,738,072
正味財産				10,571,108,446

令和6年度

IV. 監査報告書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

監査報告書

令和7年5月29日

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
会長 御手洗 富士夫 様

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

監事

北山 諒一

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

監事

崎 元 利 樹

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意志疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他必要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上